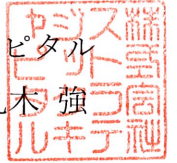


2021年10月13日

文化シャッター株式会社
代表取締役社長 小倉 博之 様

株式会社ストラテジックキャピタル
代表取締役 丸木 強



政策保有株式の発行会社としての貴社方針について

ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今般は貴社の政策保有株式の発行会社としての方針について改めて確認させていただきたく、本書簡を送付させていただきました。弊社は、貴社株式を政策保有株式として保有している取引先（以下「取引先株主」といいます。）が貴社株式を売却することが、貴社の株主価値の向上につながると考えております。

さて、取引先株主は、直近の有価証券報告書では、貴社株式を保有する目的として、「取引関係の維持・強化・円滑化」「取引事業領域の拡大」などが記載がされており、弊社は取引先株主の経営陣が、貴社株式の売却による貴社との取引関係悪化を懸念しているのだと考えます。一方で、貴社はコーポレートガバナンス・コード補充原則 1-4①をコンプライしていますので、取引先株主による貴社株式を売却したとしても、貴社として取引先株主との取引関係に何ら悪影響を生じさせない方針であることは自明の理であると弊社は認識しております。

そこで、取引先株主に対して貴社の正しい方針を周知して貴社株式の売却を促していただきたいと存じます。仮に、政策保有株式の発行会社として、貴社株式を売却した取引先株主との取引関係を悪化させる意思が貴社にある場合は、コーポレートガバナンス・コード補充原則 1-4①をエクस्पラインに変更したコーポレートガバナンス報告書をご提出いただきたく存じます。

弊社は株主として、取引先株主の経営陣が誤った認識を修正して貴社株式を売却することで、貴社株式の流動性向上及び貴社のガバナンス向上につながり、貴社の株主価値が向上するものと信じております。

末筆ながら、貴社及び貴社取引先各社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

以上